

『運天湊之図』 の成立とその背景



「仏郎西国三艘運天湊津着場之図」（東京大学史料編纂所蔵）一部改編

2026.

9.12^土

入場無料

14:00～16:00
(開場 13:30)

講師 大城 直也 (歴史担当学芸員)

会場 3階 講堂 (定員200席)

受付 当日先着

お問合せ 098-941-8200

主催 沖縄県立博物館・美術館

19世紀半ば、薩摩藩は沖縄島北部の運天港を通して、フランスと貿易を行おうと構想していました。本講座では、博物館企画展で展示中の運天を描いた絵図を手がかりに、琉球・薩摩・フランスをめぐる外交の動向を踏まえながら、その構想の背景について紹介します。

【キーワード】

#時を超えて過去から未来へー東京大学史料編纂所と、琉球の記録・絵図展
#運天港 #貿易構想 #出島 #島津家本

※駐車場の混雑が予想されますので、公共交通機関のご利用をお願いいたします。
※席数に限りがあり、ご入場いただけない場合がございます。
※会場内は空調の影響で寒くなる場合があります。

次回予告

2026. 10.10^土 14:00～16:00 (13:30開場)

「島の記念碑ヒストリー～竹富島・鳩間島・新城島・黒島・伊平屋島・野甫島・水納島・多良間島の総合調査の成果より～」

講師 崎原恭子 (歴史担当学芸員)

